

(練習スケジュールにあわせて掲載しているので、この先、曲順と一致しないことがあります)

[NBA12C] (BWV18)

第I部の中で最も物語性の強いのはペテロの否認の場面です。かつて弟子たちは「私たちはあなたを裏切ることはありません」と誓いました。しかしイエスは、ペテロに「鶏が鳴く前に、お前は3度私を知らないというだろう」と予言したのです。イエスが捕らえられたとき、こっそりついていったペテロは周りの人に見咎められ、つい「自分は彼とは関係ない」といってしまいます。そして3度目に否認したとき、鶏の声が響きわたります。



イエスの言葉を思い出したペテロは、外に出てさめざめと泣きました。ヨーロッパで受難劇が演じられるとき、聴衆は固唾を呑んでこの場面を見守るといいます。

【課題】ペテロの嘆きを、情感を込めて歌えるようにしましょう。



第II部

[NBA16B] (BWV23) 「悪いことをしていなければこの男を引渡しはしない」

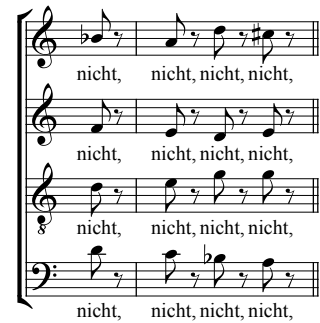
第II部の前半では、イエスの裁判をめぐるピラトとユダヤ人たちが激しい言葉の応酬をします。まずピラトが「どういう罪でこの男を訴えるのか」と尋ねると、ユダヤ人たちはいまさら何を聞くのかとばかり「悪いことをしていなければこ

の男を引渡しはしない」と答えます。テーマはまずバスに現れ、他の3声も次々にこれにつづきます。「Übeltäter 悪いこと」の半音階的な動きでは1音符ごとにアクセントをつけ、täの子音は鋭く「テへ」のように発音します。



8分休符で区切られた「nicht しない」は、鋭く(16分音符のつもりで)いい切ります。「ヒト」を極端に響かせるのがコツです。

それまでは民衆の各自がばらばらに意見をいていたのですが、ここで4声をそろえることで皆が同じ意見であることを表わしています。(→)



[NBA16d] (BWV25) 「わたしたちには人を死刑にする権利がありません」

引き続きピラトは「自分たちの律法で裁け」と突き放しますが、ユダヤ人たちは「われらには人を死刑にする権利なし」と切り返します。長い間主権を奪われてきた民衆の、怨念のこもった答え

です。テーマは前曲に示されたものとほぼ同じで、「Übeltäter 悪いこと」の部分は「töten 死刑にする」に置き換えられています。ここでは tö を鋭く発音します。

[NBA16e] (BWV26) 福音書記者：レチタティーヴォ

続く場面ではレチタティーヴォに注目してみましょう。イエスは弟子たちに自分がどのように死ぬのかを予告していました。そのことを描く場面で、バツハは「Todes 死」という不吉な言葉を低い位置におき、そのあと「ersterben 命を落とす」という言葉には苦悩に満ちた減7°音程で到達し

ます。さらにコンティヌオ声部には、死を意味する十字架の音型も横たえられています。



ヨハネ・ノート

第3号の2

札幌コダーイ合唱団

2005.01.27 発行

バッハのレチタティーヴォは、感情表現や人物の性格描写が巧みに織り込まれています。すでに[NBA2a] (BWV2)で示されたユダの人物描写がそうでした。

イエスの尋問にあたったピラトが、「お前はいついたい何をしたのだ?」と問いかけるフレーズではフリギア終止（半終止の一種）を用い、彼が怪

イエスの場合も同様です。彼が真理について述べる（「わたしの国はこの世に属していない」）とき、



あるいは威厳をもって発する言葉（「部下たちが

[NBA18b] (BWV29) 「この男ではなくバラバを」

イエスの裁判が行われたのは、ユダヤ最重要の行事である「過ぎ越しの祭り」の最中で、この時期には罪人をひとり赦すという慣例がありました。それに則ってピラトはもう一人の罪人バラバと、イエスのどちらを赦してほしいかを群衆に尋ねます。彼らは声をそろえて「バラバを!」と叫びます。

Barabam の-bam (4分音符) はbaとmとをそれぞれ♪の長さで歌うと言葉が明確になります。

【ドイツ語の発音について】 その1

日本人にとってドイツ語の発音は少々厄介です。子音は日本語よりもずっと重いので、心持ち長めにいうのがコツです。「カナ」であらわすのは難しいのですが、たとえば、 seine は「ザイね」

<語頭>

Kinder=きヒンでル, Sand=うザント(ツ), Todes=とホーでス, deine=だハイね, Mann=むマン, Jahre=いやーれ, Lieb=うリープフ, richtig=うリヒティヒ, Wort=うヴォルト(ツ)

【聖書を読む】

聖書の言葉にはすぐには理解できない部分があります。読むことに困難を感じる人は、聖書に

訝に思っている様子が描いています。



フリギア終止

戦って)は、しばしば和音の分散に基づく音型が用いられます。



このあとピラトはバラバを釈放し、イエスを鞭打たせます。



コンティヌオの付点リズムは「鞭打ちのモチーフ」といわれ、バロック音楽ではよく使われる音型です。



ではなく「うザイね」のようにいいます（下線部分は強く。「ひらがな」はあいまいに）。

子音の例をいくつかあげてみます。

- 面白いほどよくわかる「聖書のすべて」<学校で教えない教科書>中見利男著, 日本文芸社
- 地図とあらすじで読む「聖書」船本弘毅(監修), 青春出版社
- 「イエスの生涯」遠藤周作著, 新潮社 (イエスを独自の視点から捉えた名著)

についてのガイドブック, あるいは聖書にまつわる物語などを読んでみてはいかがでしょうか。